

第2回

酒田市総合計画未来会議 (市民ワークショップ)

酒田市の今を語ろう

2016年7月31日(日) 午前9時30分～12時30分
@酒田市勤労者福祉センター 3階多目的ホール

開 会



○第1回に続き、10代から70代まで
約100人が参加

- ・中学生、高校生、大学生、会社員、公務員、まちづくり団体、経済団体、市内金融機関、主婦、退職された方等、さまざまな背景をお持ちの方々が参加しました。

副市長あいさつ



- 今度の総合計画は、「みんなで作る」、
「市民とともに作り上げる」ものです。
- 学生の皆さん、周りの大人を「ぎゃふん」と
言わせるような意見を期待していますね。

事務局からの説明 ～総合計画策定の進め方、未来会議の役割～

総合計画策定の体系図

● 中学校 & 高校 & 公益大
における総合計画を
考えるWS
(授業or課外活動)
中学校・高校・公益大



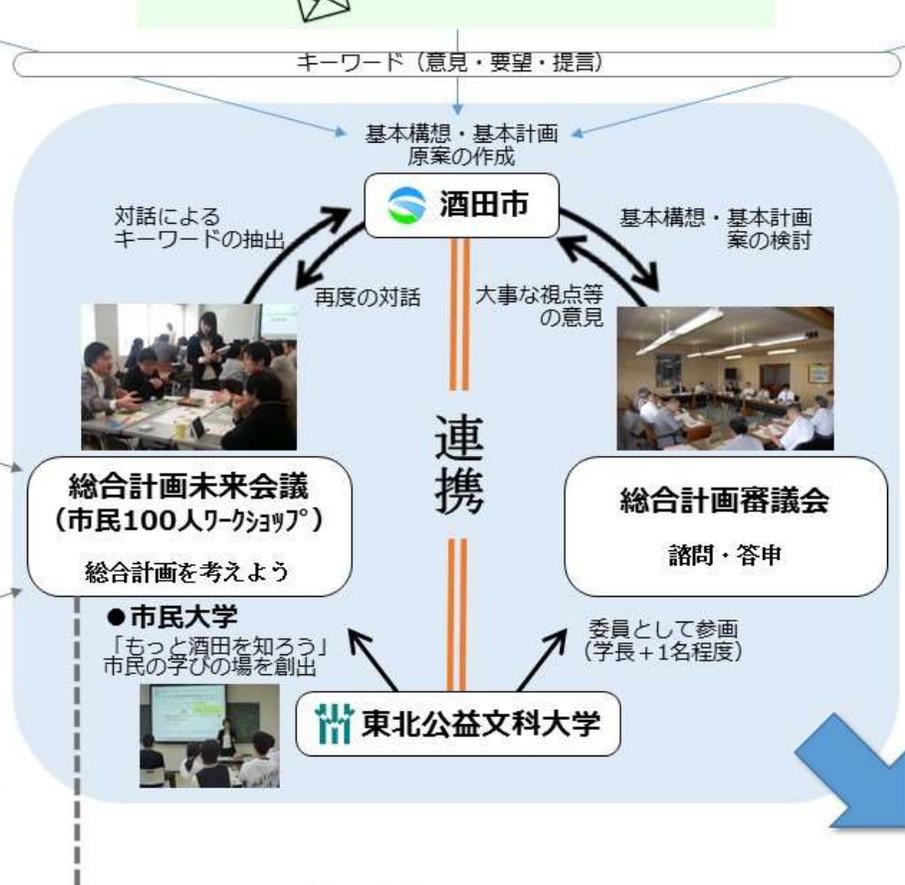
● 中高生の参加



● 公益大生の参加



● 市民アンケート
● 産業・交流都市創造会議
● 元気みらいワークショップ



● 職員による検討・学び
○ 職員PTによる検討



改善推進委員会の様子
各10名程度
・40歳前後の主任・調整主任
30歳前後の主事・主任
・各部ごとに希望職員を募集し、
各部2名を企画振興部長に推薦
・学び(P.T会議や未来会議への
参加)と実践(計画素案の作成
と部内調整)

○ 職員研修で総合計画を考える
・職員WS
・財政シミュレーションゲーム



● 市民フォーラム
(シンポジウム)の開催
基本構想案および
100人WSの実施報告
基調講演+パネル等
※100人WSの5回目と兼ねる



● 地域説明会 (WS)



● オープンハウス

パネル展示、クイズコーナー、
ゲームなどを交えた基本構想
案の紹介とアンケートによる
意見聴取



第1回目の振り返り

※市ホームページにも掲載あります。

第1回酒田市総合計画未来会議
(6月18日開催)の様子

<http://www.city.sakata.lg.jp/ou/kikaku/seisaku/suishin/miraikaigi01.html>

○未来会議の「対話」でキーワードを抽出します！

・抽出されたキーワードを市内各団体から推薦された25名で構成する「総合計画審議会」に報告。そこでの意見を再度、未来会議にフィードバックしながら、総合計画の素案をつくりあげていきます。

【参加者想定】(6/17現在)

公募	22人	公益大生	9人
無作為抽出	40人	中高生	24人
団体推薦等	20人	合計	115人



ワークショップ① まずは自己紹介



○ひとり1分くらいでテーブルのメンバーに自己紹介

ワークショップ② ルール

- 話すこと以上に「聴く」ことを大切に
- 否定せずに耳を澄ます
- 自分だけが正しいと思わずに、断定しない
- らくがきでメモを残そう

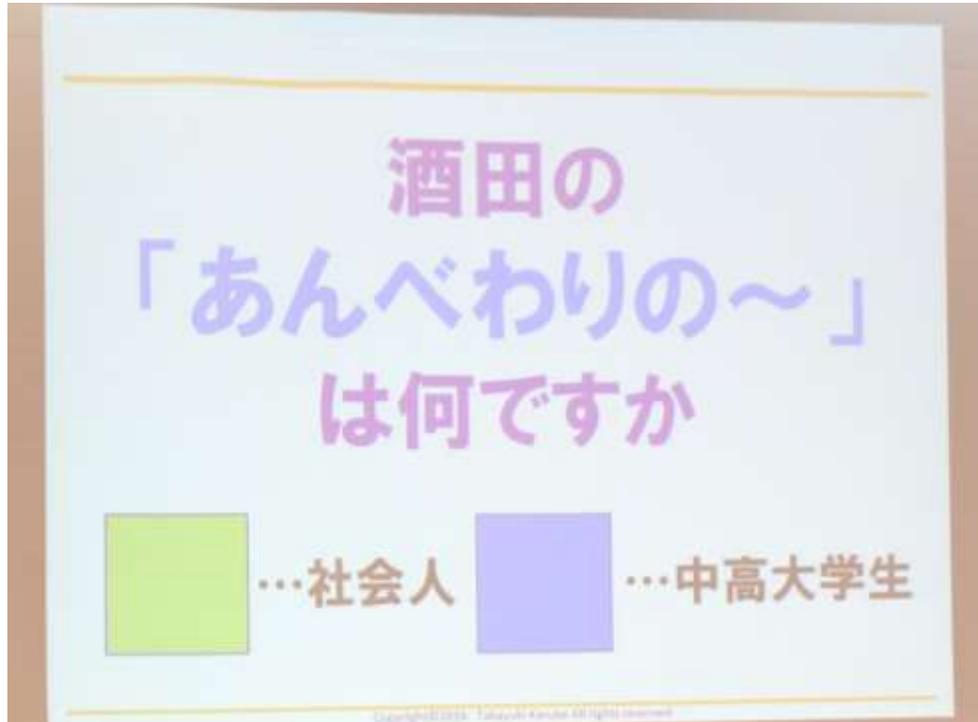


ワークショップ③ 進め方

- 1つの議題について、15分間テーブルで話し合った後、一人を残して、全員が席替えします。
- 残った一人は、新しく来た人にテーブルで出ていた話を説明します。
- 新しく来た人は、自分のテーブルの話題を話してください。
- 新しいテーブルで15分話し合った後、再び元のテーブルに戻って話し合います。



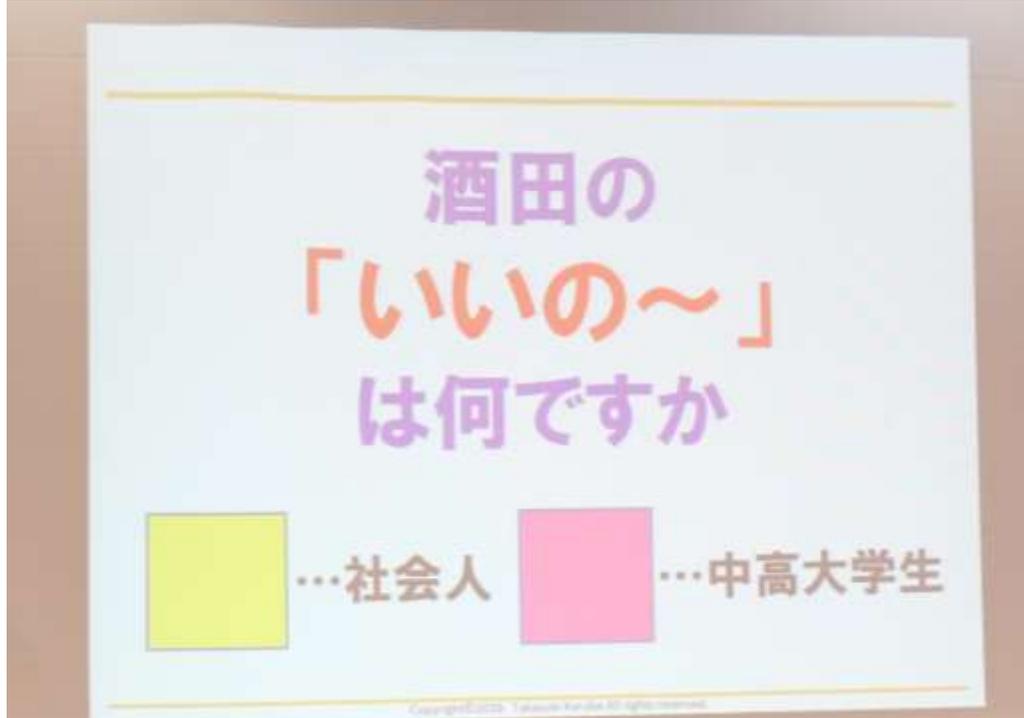
ワークショップ④ ワーク「あんべわりのの～」



- 良いところを話してはいけません。
「悪口」を徹底的に出し尽くしましょう。

※学生（大学生まで）は、青色のふせんに、その他の方は、緑色のふせんに。

ワークショップ⑤ ワーク「いいの～」

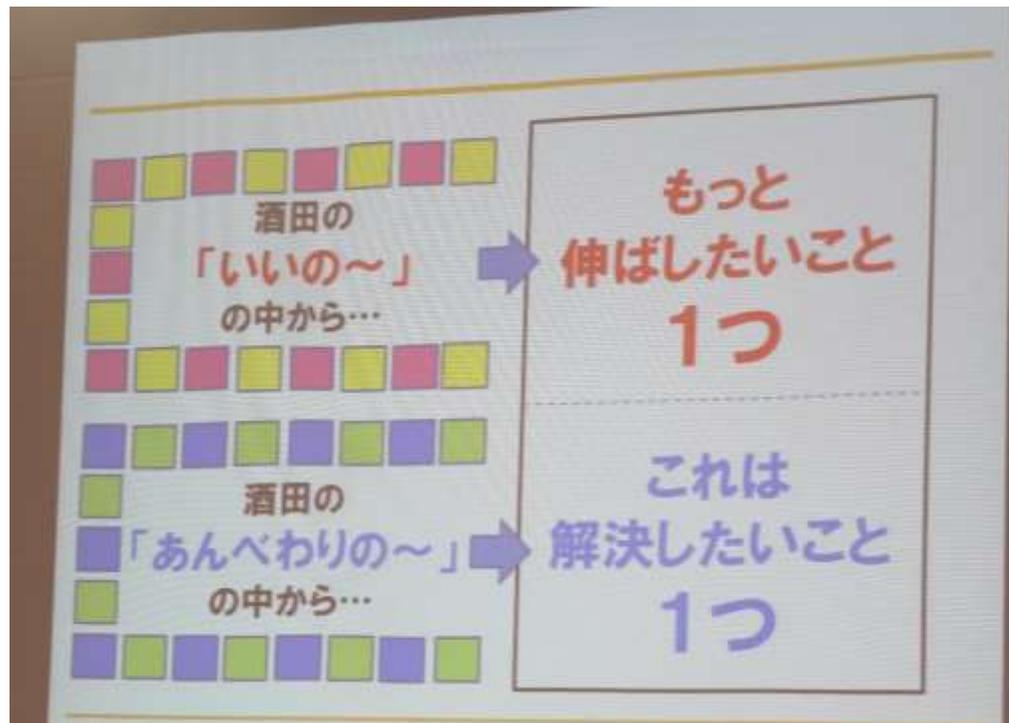


○今度は反対に、徹底的に酒田を褒めましょう。

※学生（大学生まで）は、赤色のふせんに、その他の方は、黄色のふせんに。

ワークショップ⑥

テーブル毎に振り返り



○ A4用紙に1つずつ書き出して見せ合います。

ワークショップ⑦ 全体共有

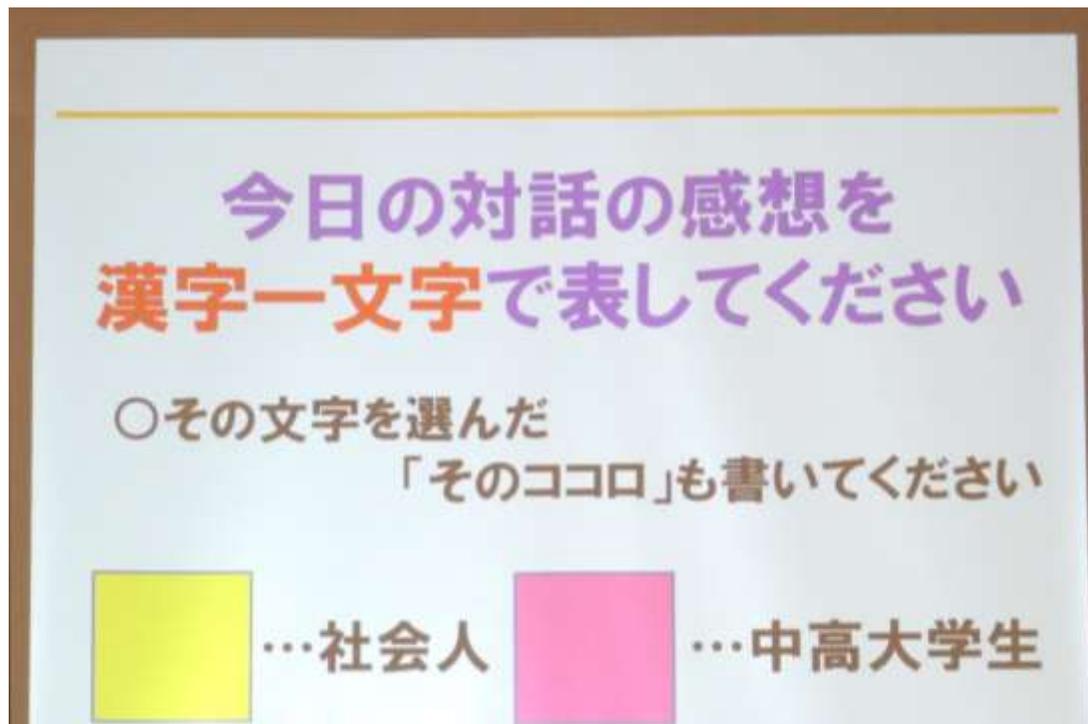


○ A4用紙をテーブルに置き、他のテーブルのキーワードをみんなで見回ります。

ワークショップ⑧（最後）

対話の感想

↑ 第1回目もやりました



○今日の対話の感想を「漢字一文字」で
ふせんに書いてテーブルで発表します。

事務局から

- 本日は本当におつかれさまでした。
- 東北公益文科大学で開催される
市民大学にも是非ご参加ください。
- 次回の未来会議は
8月28日（日） 9：30～12：30
総合文化センター3階コミュニティルーム
での開催となります。テーマは、
「まちづくりシミュレーションゲーム」を
通じて未来を語る！です。



東北公益文科大学 市民大学 講座

市民大学講座は、東北公益文科大学との連携により、市民の皆さんの学びと交流の場として開催しています。
本年度は、昼の部と夜の部を同じ内容とし、4回講座として開催します。「総合計画を考えるシリーズ～もっと酒田を知ろう」をテーマに、講師の先生の専門分野からみた酒田についてご講演をいただきます。
たくさんの参加をお待ちしております。

- 日程・講座の内容/下表のとおり
- 時間/昼の部：午前10時40分～午後0時10分
夜の部：午後7時～午後8時30分
- 会場/昼の部：酒田市公益研修センター（東北公益文科大学構内）
夜の部：酒田市総合文化センター
- 持参いただくもの/受講料 昼の部・夜の部とも 各500円
※1回目の講義時にご持参ください。
※高校生以下は必要ありません。
筆記用具

総合計画を考えるシリーズ もっと酒田を知ろう

昼・夜	月日	内容及び講師
1 昼の部 夜の部	終了	「経済学の視点からみた酒田」 スルトノフ・ミルゾサイド 氏 
2 昼の部 夜の部	終了	「これからの酒田の観光振興について(仮)」 阿蘇 裕矢 氏 
3 昼の部 夜の部	8月18日(木)	「酒田の国際化について」 狩野 晃一 氏 
4 昼の部 夜の部	9月9日(金) 9月16日(金)	「酒田の景観とランドスケープ・ヒストリー」 遠山 茂樹 氏 

◆市民大学講座に関するお問い合わせは、下記へどうぞ

次回(第3回)の未来会議は、
8月28日(日) 9:30~12:30
総合文化センター3階コミュニティルーム です。
テーマは、
「まちづくりシミュレーションゲーム」を通して未来を語る！ です。

仮想都市(S市)の未来を考えるゲームです。
S市の取り組み(事業)の優先順位を考えながら、
市役所の仕事の一部を体験します。
あくまでも「ゲーム」ですので、
わいわいガヤガヤ楽しみながら進めていきますね～



これは
悩むね？

でも、
あくまでゲーム
だから気楽に
参加してのん♪



SIM〇〇2030とは
熊本県庁の自主活動グループ「くまもとSMILEネット」が開発した対話型の自治体経営シミュレーションゲーム(ゲーム形式のワークショップ)です。
ロールプレイングによるグループでの対話をもとに、公共施設の老朽化、社会保障費の増といった条件下での政策選択を行うことで、仮想自治体の経営をゲーム感覚で体験し、一定の制約条件のもとで、全体最適やビジョンの重要性に気付きます。



総合計画
(マスタープラン)
の策定過程で、大勢
の市民でこのゲーム
に取り組むのは、
酒田市が全国初！？
たぶん...f(^^;



酒田市職員研修会の様子

お帰りの際に…



○感想を書いたふせん を貼って頂きました。